

教職員 自己評価アンケート(後期) R7年度 12月実施

A(そう思う) B(ややそう思う) C(あまりそう思わない) D(そう思わない)

領域	No.	評価項目	R7・後期(%)				R7・前期(%)			
			A	B	C	D	A	B	C	D
学校運営	1	教育目標・方針について共通理解をし、実現に努力した。	67	33	0	0	69	31	0	0
	2	生徒は学校生活を楽しんでいると思う。	56	44	0	0	69	31	0	0
	3	教職員は生徒と一緒によく活動している。	50	50	0	0	81	19	0	0
	4	校務分掌が組織的に機能し教職員の連携がとれている。	45	45	10	0	69	31	0	0
	5	学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。	73	27	0	0	69	31	0	0
	6	授業公開・授業研究・校内研修の活性化が進んでいる。	61	39	0	0	81	19	0	0
教科指導	7	生徒が意欲的に取り組むような授業の工夫をした。	59	41	0	0	69	31	0	0
	8	「学び合い学習」を意識した授業の工夫改善をした。	53	47	0	0	56	44	0	0
	9	生徒の学力は向上していると思う。	12	59	29	0	13	81	6	0
	10	指導の過程や終末での評価を適切に行った。	47	47	6	0	44	50	6	0
	11	計画的な家庭学習の手だてをしている。	30	70	0	0	69	19	12	0
	12	授業規律はできている。	59	41	0	0	56	44	0	0
	13	「羽咋の学び」を活用している。	24	47	24	5	25	56	19	0
生徒指導	14	全教職員の共通理解に基づいた指導がなされている。	39	61	0	0	25	75	0	0
	15	生徒や教師のあいさつはよくできている。	22	50	28	0	19	63	18	0
	16	生徒理解に努め、教師と生徒、生徒と教師の好ましい人間関係が醸成されている。	33	67	0	0	44	50	6	0
	17	生徒や保護者からの相談には誠意を持って応じている。	72	28	0	0	82	18	0	0
	18	外部との対応についての体制が整っている。	22	72	6	0	63	31	6	0
	19	学校は校内の環境美化に積極的に取り組んでいる。	33	67	0	0	57	37	6	0
特別活動	20	生徒は生徒会活動や委員会活動に積極的に取り組んでいる。	39	61	0	0	50	44	6	0
	21	生徒は学校行事に積極的に取り組んでいる。	78	22	0	0	63	37	0	0
	22	部活動は生徒にとっても教師にとっても充実している。	24	29	41	6	25	50	19	6

【改善された点】

- ①A＋B評価の割合が5ポイント以上向上した項目が4項目  
項目11：計画的な家庭学習の手立て  
項目16：生徒と教師の好ましい人間関係が醸成されている  
項目19：校内の環境美化に積極的に取り組んでいる  
項目21：学校行事に積極的に取り組んでいる

【課題となる点】

- ①A＋B評価の割合が減少した項目が3項目  
項目9：生徒の学力は向上している（－23％）  
項目13：「羽咋の学び」の活用（－10％）  
項目15：あいさつはよくできている（－10％）

【考察】

- ①学校全体として、落ち着いた雰囲気で学校生活が送れている。A＋B評価の割合は5ポイント以上向上した項目が4項目あり向上している。  
②教科指導については、「計画的な家庭学習の手立てはできている」が「個の見取りと評価」「羽咋の学びの活用」が弱いため、学力の定着が鈍っている。  
③あいさつについては、継続的な指導が必要。

【今後の方向性】

- ①教職員の共通理解を図り、連携をとりながら、さらなる組織的な学校運営に努める。  
②「羽咋の学び」を形骸化せず、明確に示した生徒に身に付けさせるべき力を各教科等で培っていく。  
③今まで以上に生徒の姿を見取り、指導改善・授業改善に努める。